

令和2年7月28日
CEATEC 2020 ONLINE
ニューノーマルプロジェクトセッション

課題：

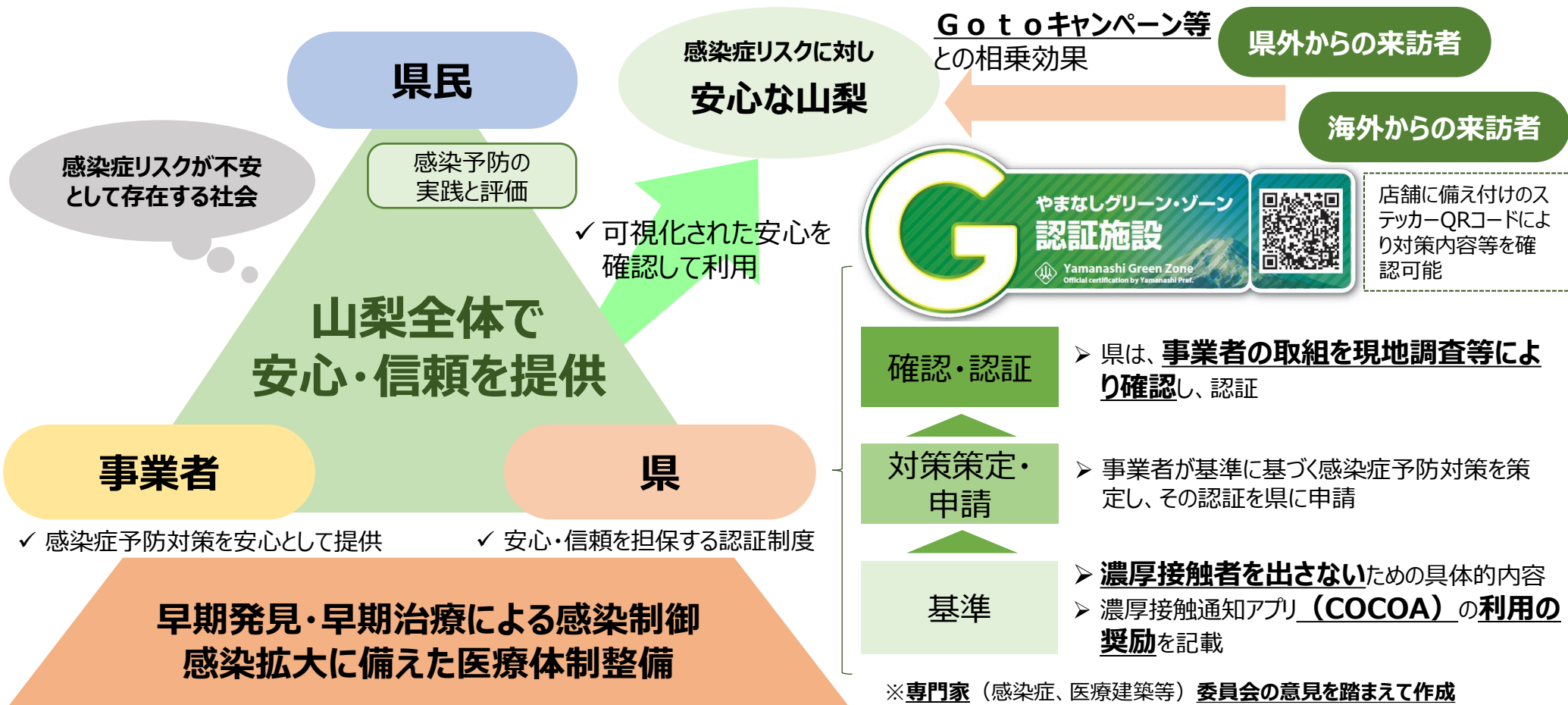
ソーシャルディスタンスとおもてなしの両立



やまなしグリーン・ゾーン認証制度

～ コロナウイルスを心配しない「旅行」と「食事」を ～

- ✓ 宿泊業と飲食業の感染症予防対策を県が認証（自治体が認証しているのは山梨県だけ）
- ✓ 対策が実施されていれば、仮に利用者・従業員の感染が判明しても濃厚接触者はゼロに近く
- ✓ 6月下旬から認証申請の受付を開始 ※ 7月22日までに245件の申請。

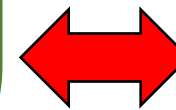
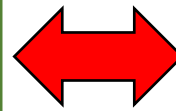
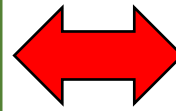


ソーシャルディスタンス (感染症予防対策)

- 対人距離の確保・パーティションの設置
- 多くの人々が接触する器具のこまめな清拭消毒
- 大皿料理やビュッフェ形式での提供の制限

おもてなし (快適な空間づくり)

- 円滑なコミュニケーションを阻害
- 従業員の負荷が増加し、他のサービスにも影響
- 利用者に人気のサービスの提供に制限



テクノロジーの力で解決できないか？

令和2年7月28日
CEATEC 2020 ONLINE
ニューノーマルプロジェクトセッション

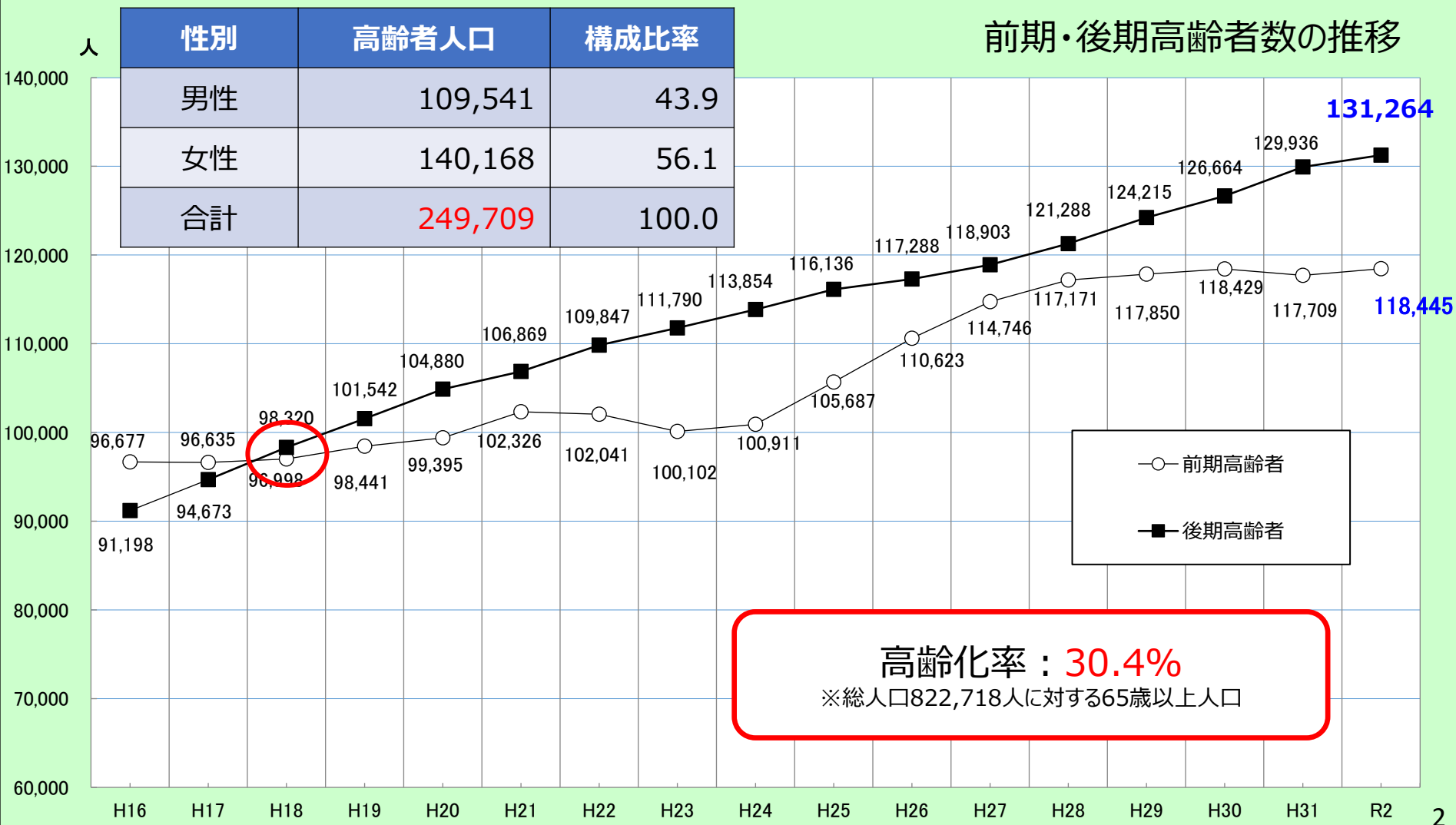
課題：

ICTやAI等を活用した 高齢者の新しい生活スタイル



山梨県の高齢者人口

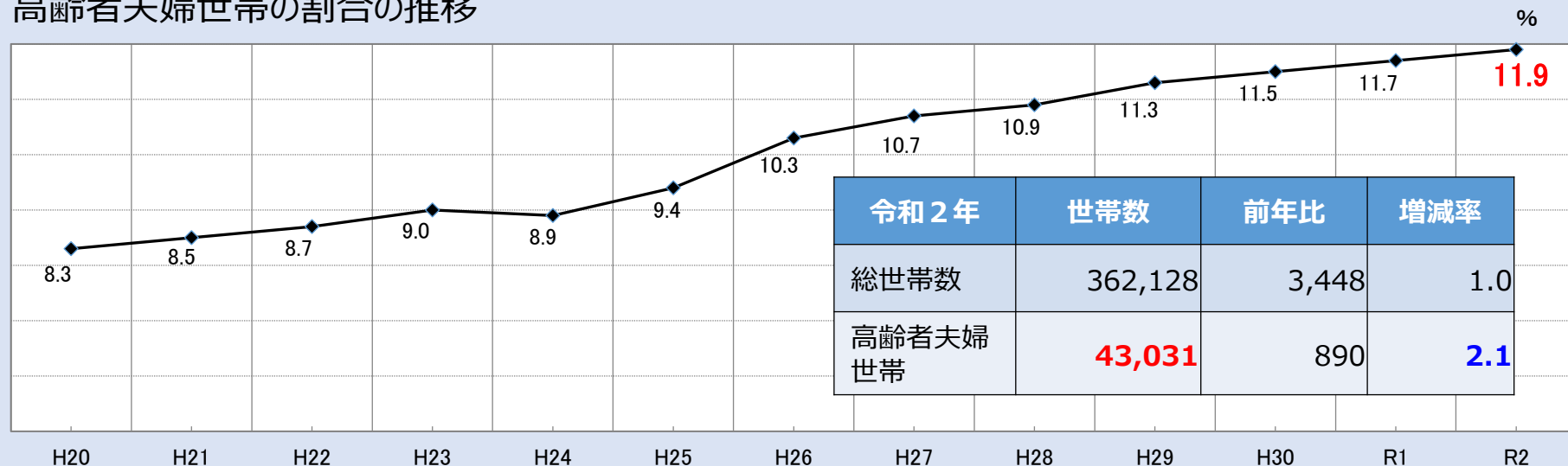
- 令和2年4月1日現在の**65歳以上の高齢者**は、**249,709人**となっている。
- 平成18年以降、**後期高齢者**(75歳以上)の数が、**前期高齢者**(65歳以上75歳未満)の数を上回っている。
- 総人口に対する**高齢化率**は、**30.4%**となっている。



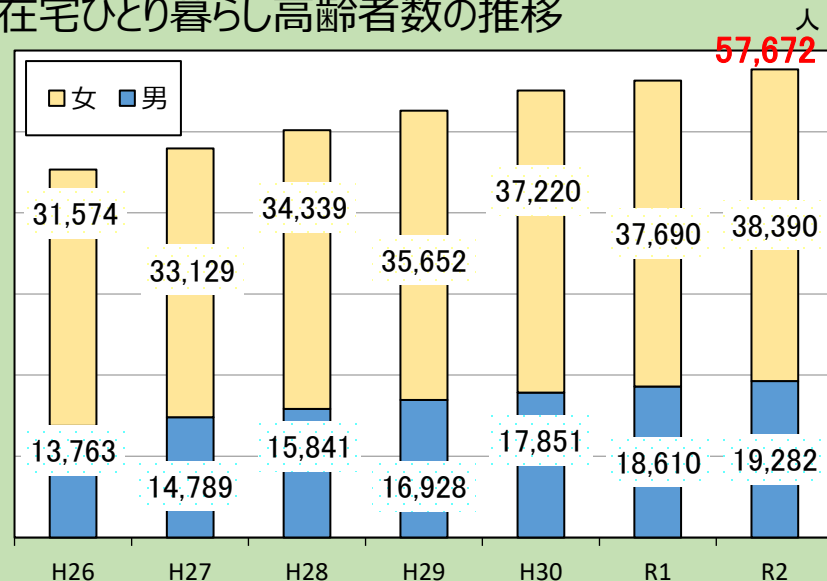
高齢者夫婦世帯と在宅ひとり暮らし高齢者

- **高齢者夫婦世帯数**は、**43,031世帯**であり、総世帯数に対する割合は、**11.9%**となっている。
- **在宅ひとり暮らし高齢者数**は、**57,672人**であり、高齢者数に対する割合は、**23.1%**となっている。

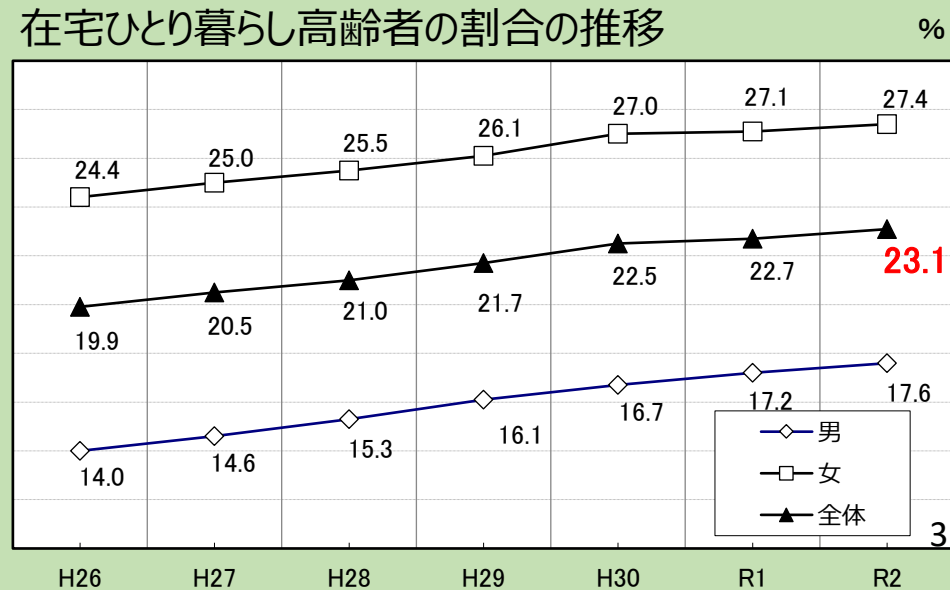
高齢者夫婦世帯の割合の推移



在宅ひとり暮らし高齢者数の推移

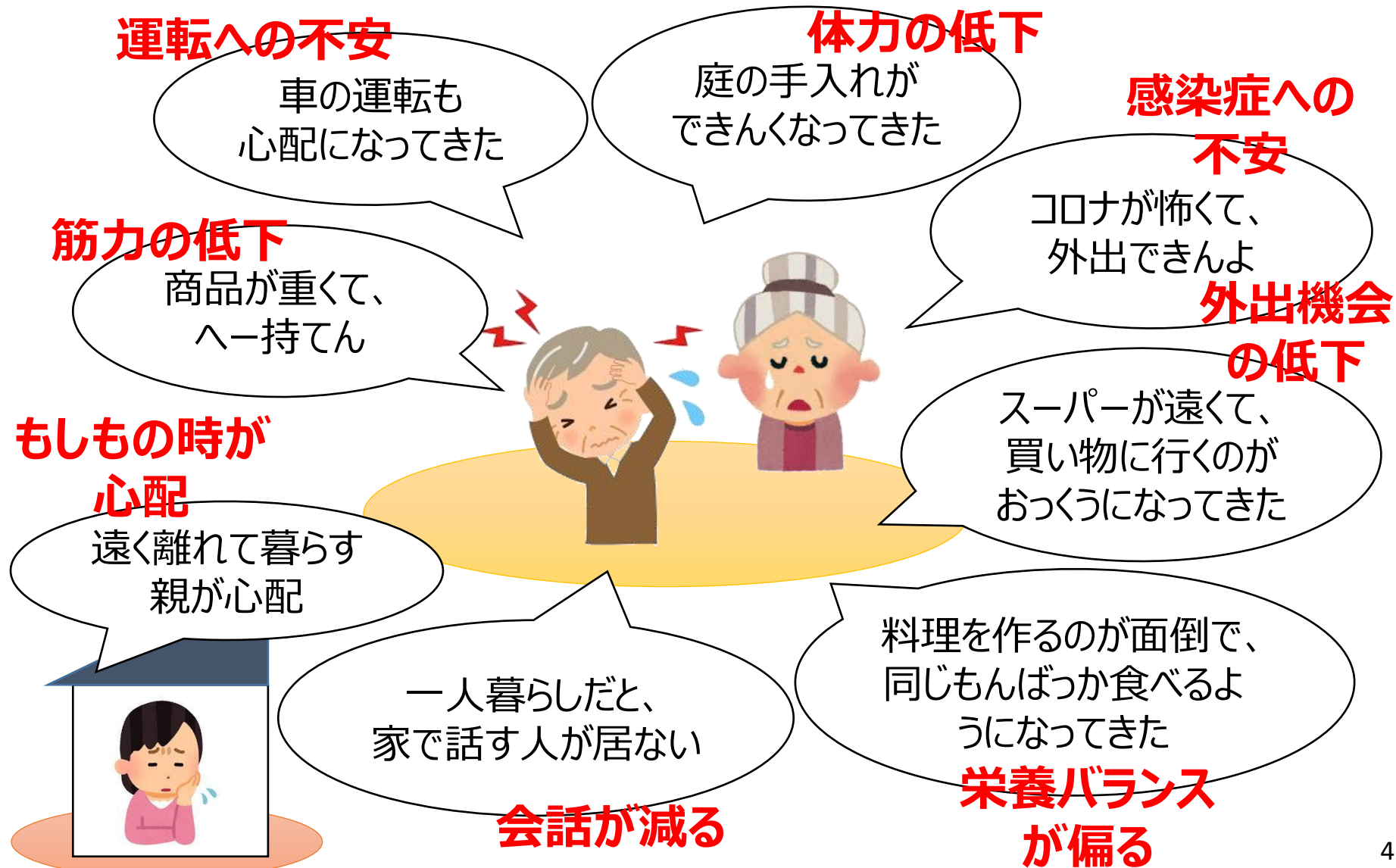


在宅ひとり暮らし高齢者の割合の推移



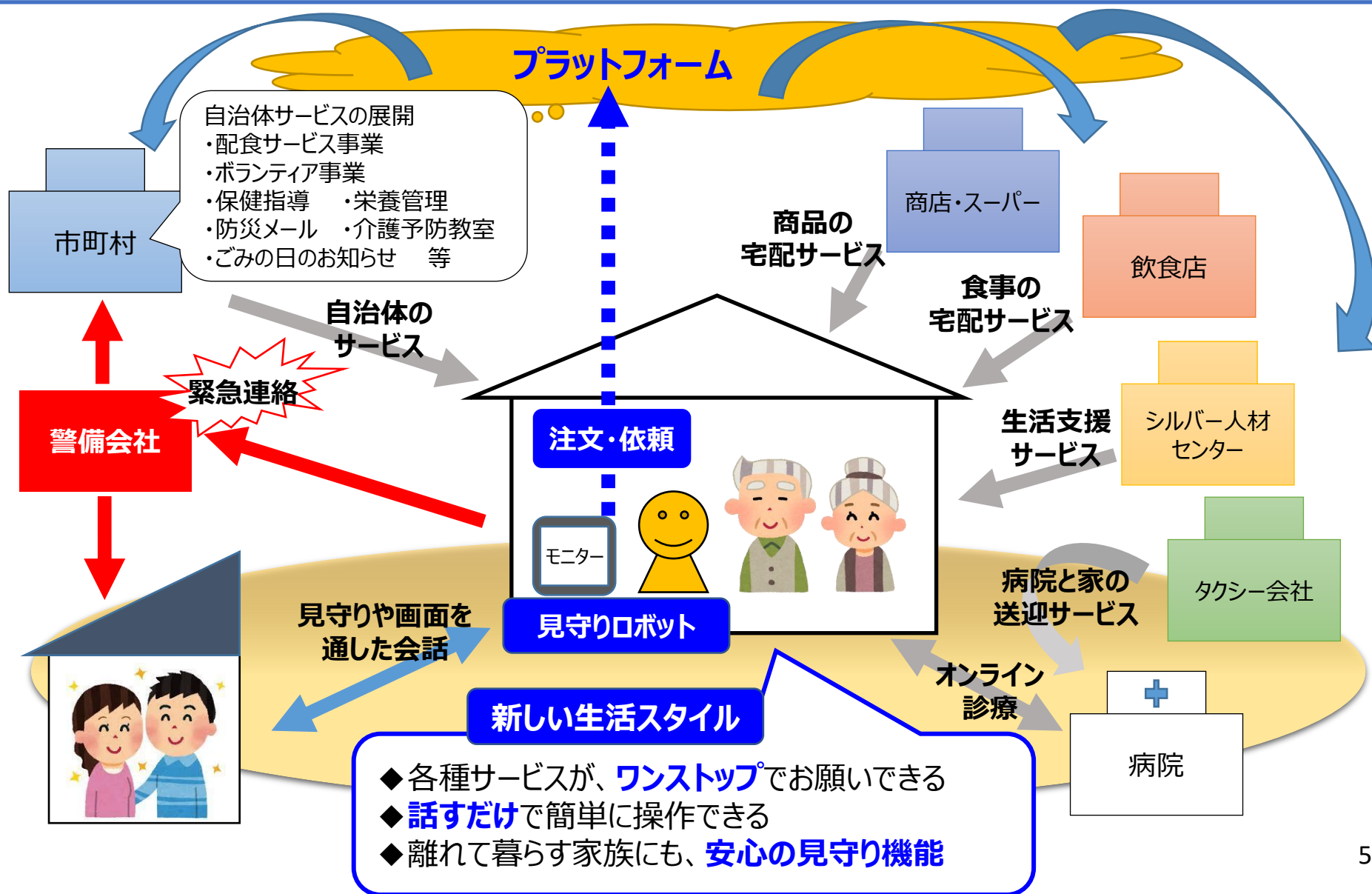
高齢者を取りまく課題

- 高齢者夫婦世帯や在宅ひとり暮らし高齢者が増える中、加齢とともに筋力や認知機能の低下等が進むことで、**高齢者を取りまく課題も増えてきている**。
- 更に、新型コロナウイルス感染症への不安から、外出や外食、仲間との交流など、人と接する機会を控えている。



ICTやAI等を活用した高齢者の新しい生活スタイル

高齢者世帯等の課題を解消するため、ICTやAI等の技術を活用した「見守りロボット」等を使って各種サービスを利用する、「**高齢者の新しい生活スタイル**」を実現する。



新しい生活スタイルの実現に向けた課題

課題

- 既存のサービスにおいてシステム化されている注文、支援依頼（申請）等の手続きの統一化。

【プラットフォームの確立】

- スマホ等の操作に不安のある高齢者のため、会話で注文等が完了。

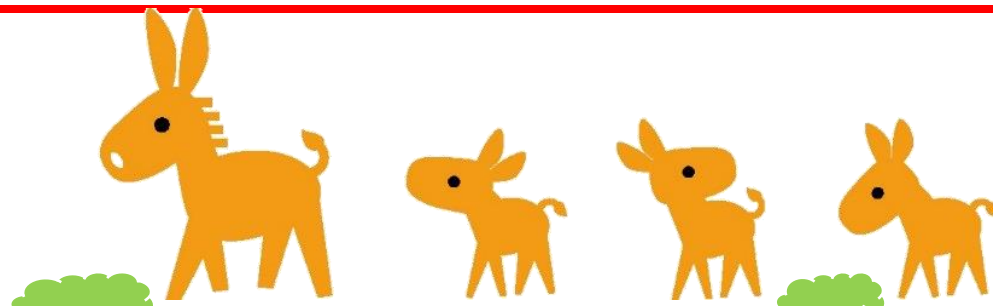
【音声認識により複雑な操作の簡略化】

- 離れて暮らす家族と高齢者が、見守りロボットやモニターを通じて会話を楽しむ。
- 緊急時には警備会社等に通報。警備会社等は見守りロボット等により高齢者の状況を確認し、迅速かつ適切な対応が可能。

【見守り・通報システムの開発等】

- 市町村における既存サービス等との連携。

【既存システムとの連携等】



認知症になっても安心して暮らし続けられる山梨県を目指して

※認知症サポーターは、「認知症サポーター養成講座」を受けることで、認知症について正しい知識を持ち認知症の人とその家族を温かく見守る応援者です